

## OTCV-8のご提案(ゴルフ指導)

### 1、映像の比較

上手な人との比較や、修正前と後の比較を行う。

動きは、感覚での動きと実際の動きとは異なります。目的とする動きを行うには感覚と実際の違いを確認しなければなりません。

指導した方法で習う人がどう変わったか？

その結果を確認しることによって、習う人に合った指導方法を判断できます。

また、良い結果を得れば習う人の信頼も大きくなります。

正面・側面 模範映像の再生で説明



・OTCV8:模範スイング教材やならう人の以前の動画と現在の動画を比較します。

動画の撮影は  
Webカメラかビデオカメラ+キャプチャー装置からOTCV8を使用して録画するか、デジカメのAVI、MOV形式の動画をPCのHDDにコピーして使用します

### 2、スイングの撮影機器

撮影方法は道具として、Webカメラ、ビデオカメラ、デジカメの3種類考えられます

以下にその特徴を上げます

Webカメラ

PC内臓か市販の物をPCに接続して使います。  
(操作は簡単です)

ビデオカメラ

ビデオカメラのビデオ端子に市販のビデオキャプチャー装置を接続して使います  
(キャプチャ装置を経由しますので少し面倒です)

デジタルカメラ

デジタルカメラの動画を使用します  
(デジタルカメラの動画をPCのHDDにコピーして使用します)

### 3、スイングの撮影位置

撮影は映像比較するため、同じ条件で被写体から同じ距離から撮影します。

方向は、正面と側面が良いです。

もし、場所の制約で被写体が入らない時は、広角レンズを使用します。

(広角レンズを使用する場合は、端の方は湾曲して使えませんので注意してください)

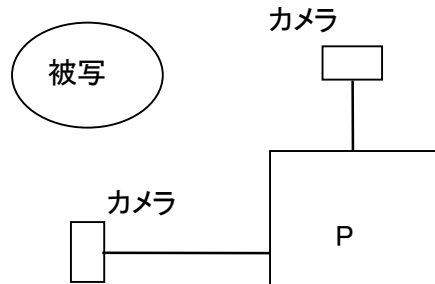
以下はiPhone、デジカメに装着した広角コンバージョンレンズの例です



#### 4、特殊な使い方

##### ①2方向からの同時撮影

Webカメラやビデオカメラ+キャプチャーで2方向から同時に撮影開始して再生します



OTCV8:A,Bにそれぞれ正面側面のカメラの映像を表示し、同期ボタンを押して録画します。同時録画が開始されます。録画中ボタンを解除すると直ぐに再生可能になります。録画映像を残す時は保存を忘れずに行ってください。

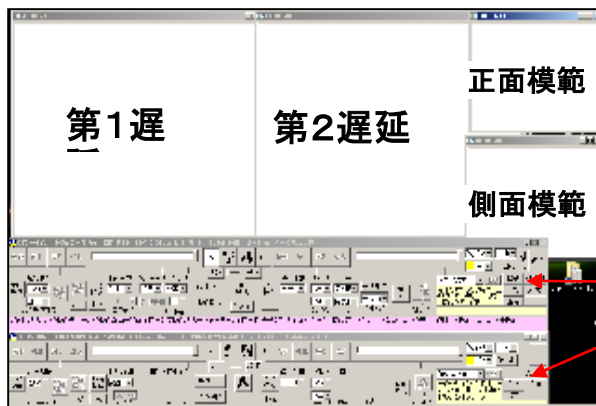
##### ②ハイスピードカメラを使用した時

ハイスピードカメラの映像はその分スロー再生されます。条件再生機能を使うと通常の速さにして再生表示できます。また、30コマ/秒と240コマ/秒のフレーム数/秒の違う動画も再生条件を設定して同期した映像を比較で

##### ③遅延映像を利用した自習システム

習う人に課題を与えて自習させます。

もうひとつOTCV8(OTCV8フォルダーをもう一つコピーしておきます)を起動し、模範映像を表示します。



・OTCV8:Webカメラかビデオカメラ+キャプチャー装置を使用し、遅延機能を使う。また、もう一つ立ち上げたOTCV8で模範教材を表示し、作図や調整をして、スローで繰返し再生する。

OTCV8を2つ起動していますので、操作パネルは2つ表示されます。パネルのタイトル欄に起動したフォルダー名が表示されています。